

点検・評価項目 ※A=評価基準を満たしている。B=評価基準を満たしていない。	人文学部	人文社会科学研究科	教育学部	教育学研究科	医学部	医学系研究科				工学部	工学研究科	生物資源学部	生物資源学研究科	地域イノベーション学研究科	教養教育院	理事(教育担当)	理事(企画・経営担当)	理事(総務担当)
						医科学専攻(修士)	生命医科学専攻(博士)	看護学専攻(博士前期)	看護学専攻(博士後期)									
教育課程に係る点検・評価項目	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
1. 学位授与方針が、大学等の目的を踏まえ、具体的かつ明確に定められていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	-	-	-	-
2. 教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いよう、①から③の方針が具体的かつ明確に示していること。 ①教育課程の編成の方針 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針 ③学習成果の評価の方針	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	-	-	-
3. 教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
4. 教育課程の編成が、体系的を有していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	-	-	-
5. 授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
6. 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
7. 大学院課程(専門職学位課程を除く)において、学位論文(特定の課題についての研究の成果を含む)の作成等にかかる指導(以下、「研究指導」という)に関し、指導教員を明確に定める等の指導体制を整備し、計画を策定した上で指導すること。	-	A	-	A	-	A	A	A	A	-	A	-	A	A	-	-	-	-
8. 1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
9. 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を機関として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
10. シラバスに授業名、担当教員名、授業の目的、到達目標、授業形態、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記載され、学生に対して明示されていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
11. 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
12. 専門職大学院においては、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていること。	-	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合には、法令に則した実施方法となっていること。	-	A	-	A	-	A	A	A	A	-	A	-	-	A	-	-	-	-
14. 教職大学院について、連携協力校を確保していること。	-	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 夜間において授業を実施している課程を置いている場合には、配慮を行っていること。	-	A	-	A	-	A	A	A	A	-	A	-	-	-	-	-	-	-
16. 履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
17. 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
18. 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
19. 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
20. 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	B	A	A	-	-	-
21. 成績評価基準を学生に周知していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
22. 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	-	-	-
23. 成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-
24. 大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件(以下、「卒業修了要件」という)を組織的に策定していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
25. 大学院課程において、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準(以下、「学位論文審査基準」という)を組織として策定していること。	-	A	-	A	-	A	A	A	A	-	A	-	A	A	-	-	-	-
26. 策定した卒業修了要件(学位論文評価基準を含む)を学生に周知していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
27. 卒業又は修了の認定を、卒業修了要件(学位論文評価基準を含む)に則して組織的に実施していること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
28. 標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
29. 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
30. 卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること。	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
31. 卒業(修了)後一定期間の修業経験等を経た卒業(修了)生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-
32. 就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-



## 【報告事項】

対象年度における取組状況(課題の改善状況及び特筆した成果等の状況を含む)又は現在の状況についての総括

## ○教育課程

部局	内容
人文学部・人文社会科学研究科	全体的に見て、ほぼ「点検項目を充たしている」(=A)といえる。 特筆すべき点としては、項目16に関して、コロナ禍による交換留学制度停滞の代替措置として、プロジェクト「日本とタイを結んだ文化研修」をオンラインで実施した点。また項目18に関して、2019年度から必修化されたインターンシップの運用体制を、学内Moodleコースの充実によって、より学生が利用しやすいものとしたほか、学部独自の特殊講義「就職支援講座」を開講して、社会的・職業的自律のための能力向上を培う取組を継続的に行っている点などを挙げるができる。
教育学部・教育学研究科	現在の状況として、全評価項目を通じてAの評価であり、この状況を今後も継続する必要がある。なお、4. 教職大学院のカリキュラムマップは、現在検討中である。
医学部	確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成できるよう、今後も改善・向上に取り組む。
医学系研究科医科学専攻(修士課程)	医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成できるよう、今後も改善・向上に取り組む。
医学系研究科生命医科学専攻(博士課程)	地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成できるよう、今後も改善・向上に取り組む。
医学系研究科看護学専攻(博士前期課程)	看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成できるよう、今後も改善・向上に取り組む。
医学系研究科看護学専攻(博士後期課程)	『俯瞰的視野』をもち、他の学問領域等と協議しながら新たな知見を導き出し、地域に根差した独自性豊かな看護学研究成果を生み出すことのできる人を育成できるよう、今後も改善・向上に取り組む。
工学部・工学研究科	大部分の評価項目において評価の観点を満足しており、おおむね取組状況は良好であると判断できる。 しかし、一部項目では満たしていない観点も見られるため、これらの改善に向けての取組が必要である。
生物資源学部・生物資源学研究科	現在の状況について、内部の質保証を満たしていると自己評価を行った。
地域イノベーション学研究科	令和3年度の地域イノベーション学研究科の学生の受入に係る自己点検・評価を実施し、観点22を除く全ての観点において該当項目を満たしていると判定した。観点22に関しては、地域イノベーション学研究科アセスメントポリシーに基づくチェックリストが不備であることが判明したため改善することとした。
教養教育院	三重大学教養教育院の教育課程に係わる内部質保証については、全ての観点において該当項目を満たしている。特筆すべきは、(i)全学が履修する共通カリキュラムが「自律的・能動的学習力の育成」及び「グローバル化に対応する人材の育成」という2つの理念に基づく体系的なカリキュラム構成であることに加え、(ii)各授業が科目ガイドラインに沿った内容であることを担保するために、授業担当者から提出される授業計画並びにシラバスを教養教育院所属の専任教員が確認する体制を整えていることである。さらに、評価対象年度である2020年度には、共通カリキュラムと全学のディプロマポリシーとの対応についてもコアカリキュラムにより明示化し、教養教育院のホームページを通して学内外に公表した。

## 【報告事項】

対象年度における取組状況(課題の改善状況及び特筆した成果等の状況を含む)又は現在の状況についての総括

## ○学生の受入

部局	内容
理事(教育担当)	現在の状況について、内部の質保証を満たしていると自己評価を行った。
人文社会科学研究科	全体的に見て、ほぼ「点検項目を充たしている」(=A)といえる。「求める学生像」は専攻ごとのアドミッション・ポリシーに示されており、「入学者選抜の基本方針」については「入学者募集要項」の中でアドミッション・ポリシーに対応する評価方法を標記し、専門科目について必要とされる学問分野を専攻ごとに明記している。その他の点検項目についても、入試委員会と2専攻の大学院入試実施委員会を中心に適切な対応がなされている。B評価となった項目1②の「採点・評価基準」「合否判定基準」の明示については、募集人員が少ない一方で多くの専門分野を含んでいる本研究科の性質から、アドミッション・ポリシーに具体的記述を記載することに困難が伴うという事情がある。
教育学研究科	1. 学生募集要項ならびに入試広報に用いているパンフレットにアドミッション・ポリシーと求める学生像が示されている。 2. 入学者選抜方法(筆記試験ならびに口述試験)が入学者選抜の基本方針に適合するよう、筆記試験の作問ならびに口述試験実施の手順を示した文書を作成し、筆記試験・口述試験の担当者はそれに基づいて筆記試験の作問ならびに口述試験実施を行った。 3. 教育学研究科会議において前年度入試の検証を行い、それを踏まえて、分野・教科を超えた教員チームによって公正で統一的な入試選抜を実施するというように入試方法の改革を行った。 4. 過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均は88.4%である。さらにこの適正化をめざし、定員充足のために大学院入試説明会を年3回開いている。また、今後の取り組みとして、学内の学生に向けた独自の入試説明会を開催する予定である。
医学系研究科	入学者受け入れ方針に沿った学生受け入れを行っており、今後も改善・向上に取り組む。
工学研究科	大部分の評価項目において、満たしていない観点が見られる。改善に向けて取り組む必要がある。
生物資源学研究科	現在の状況について、内部の質保証を満たしていると自己評価を行った。
地域イノベーション学研究科	令和3年9月13日に開催された地域イノベーション学研究科自己点検・評価委員会において、令和3年度の地域イノベーション学研究科の学生の受入に係る自己点検・評価を実施し、上記の通り全ての観点において該当項目を満たしていると判定した。

## 【報告事項】

対象年度における取組状況(課題の改善状況及び特筆した成果等の状況を含む)又は現在の状況についての総括

## ○学生支援

部局	内容
理事(教育担当)	自己点検の結果、上記のすべての点検・評価項目について、該当項目を満たしていた。 なお、令和2年度においては、特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことにより、本学独自の「三重大学新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時給付型奨学金制度」を新設するなど、経済的支援制度の拡充による学生への修学支援を行うとともに、就職相談や就職ガイダンス、学内合同企業説明会などコロナ禍で対面実施が難しい状況で、急遽すべてをオンラインに切り替えるなど学生への就職支援体制が維持できるように努めた。

## ○学生支援(留学生)

部局	内容
理事(総務担当)	自己点検の結果、上記のすべての点検・評価項目について、該当項目を満たしていた。 さらに令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の水際対策による留学生の経済的な負担を減らすため、14日間待機に係る宿泊費の一部及び空港―ホテル間のハイヤー代については大学が負担する特別支援を実施した。

## ○施設及び設備

部局	内容
理事(企画・経営担当)	大学設置基準に基づき、必要な施設及び設備が設置されていることを確認した。

## ○ICT環境

部局	内容
理事(総務担当)	年間計画に基づく建屋スイッチおよびフロアスイッチ並びにアクセスポイントの整備をすることで、講義やオンライン会議が円滑に実施できるICT環境を提供した。 利用可能な教育端末室などの自主的学習室、端末台数を把握し、状況に応じ適切に利用者へ開放することで教職員および学生への教育環境、学修環境を提供した。

## ○図書資料等

部局	内容
理事(総務担当)	教育研究上必要な図書(印刷物)や電子情報資源(電子ジャーナル、電子書籍、データベース)を整備し、利用に供した。特に電子書籍の充実に努め、アクセス数を伸ばした。 コロナ禍による利用制限下のため、入館者数は減少したが、代替措置として、郵送による貸出サービスや自宅から利用できる電子コンテンツの提供などを行い、自主的学習環境の整備を行った。

【改善点とその改善方策】

自己点検の結果, 評価Bの項目だった内容(どの項目が分かるように記載)と改善の方策について

○教育課程

部局	評価Bの項目	改善の方策
人文学部・人文社会科学研究科	30. 卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により, 大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること。	実施するアンケート項目を、大学の目標及び学位授与方針に則した学習成果の検証に、より適したものと する必要がある。 については今後、学部・研究科でアンケート項目を検討の上、修正を行う。
工学部・工学研究科	2. 教育課程方針において, 学生や授業科目を担当する教員が解り易いよう, ①から③の方針が具体的かつ明確に示していること。 ①教育課程の編成の方針 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針 ③学習成果の評価の方針	改善に向けた具体的取り組みを、教務委員会において策定し実施していく。
工学部・工学研究科	20. 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって, 組織として策定していること。	改善に向けた具体的取り組みを、教務委員会において策定し実施していく。
工学部・工学研究科	22. 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて, 組織的に確認していること。	改善に向けた具体的取り組みを、教務委員会において策定し実施していく。
生物資源学部	22. 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて, 組織的に確認していること。	「三重大学大学院成績評価ガイドライン」に則って実施しているが、「成績分布表についてのガイドライン」等については、今後全学で検討がなされる予定である。
生物資源学研究科	1. 学位授与方針が, 大学等の目的を踏まえ, 具体的かつ明確に定められていること。	カリキュラムマップ作成中であることによる。カリキュラムマップについては、今年度第4回教育会議での依頼を受け、研究科内において作成中である。
生物資源学研究科	4. 教育課程の編成が, 体系性を有していること。	カリキュラムマップ作成中であることによる。カリキュラムマップについては、今年度第4回教育会議での依頼を受け、研究科内において作成中である。
生物資源学研究科	20. 成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって, 組織として策定していること。	カリキュラムマップ作成中であることによる。カリキュラムマップについては、今年度第4回教育会議での依頼を受け、研究科内において作成中である。
生物資源学研究科	22. 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて, 組織的に確認していること。	「三重大学大学院成績評価ガイドライン」に則って実施しているが、「成績分布表についてのガイドライン」等については、今後全学で検討がなされる予定である。
地域イノベーション学研究科	22. 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて, 組織的に確認していること。	各授業科目の成績評価の根拠と単位認定状況を確認したところ、地域イノベーション学研究科アセスメントポリシーに基づくチェックリストが不備であることが判明したため、令和3年9月22日開催予定の教務委員会および教授会においてチェックリストを策定する予定である。

## 【改善点とその改善方策】

自己点検の結果, 評価Bの項目だった内容(どの項目が分かるように記載)と改善の方策について

## ○学生の受入

部局	評価Bの項目	改善の方策
人文社会科学研究科	1. 入学者受入の方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること。	②の「採点・評価基準」「合否判定基準」の明示について、本研究科は専門分野が多岐にわたるため、研究科全体の「採点・評価基準」を受験生にも分かりやすく公表することは必ずしも容易ではない。「採点・評価基準」を外部に公表する方法や範囲などについて、検討を進めていく。「合否判定基準」についても、同様に検討していく。
医学系研究科医科学専攻 (修士課程)	4. 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと。	過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均が70%以下となっている。 入学者割合改善の方策として、勉学に励む意欲があり入学試験における成績が優秀であると認められる者に対する就学支援を目的とした「三重大学大学院医学系研究科医科学専攻入学特別奨学金制度に関する規程」の新規制定や入学試験説明会を実施している。
医学系研究科看護学専攻 (博士前期課程)	1. 入学者受入の方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること。	入学者受入の方針において「入学者選抜の基本方針」が明示されていないため、明示を検討する。
医学系研究科看護学専攻 (博士後期課程)	1. 入学者受入の方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること。	入学者受入の方針において「入学者選抜の基本方針」が明示されていないため、明示を検討する。
工学研究科	1. 入学者受入の方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること。	改善に向けた具体的取り組みを、教務委員会において策定し実施していく。
工学研究科	2. 入学者受入の方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること。	改善に向けた具体的取り組みを、教務委員会において策定し実施していく。
工学研究科	3. 入学者受入の方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていること。	改善に向けた具体的取り組みを、教務委員会において策定し実施していく。